

<会長挨拶>

昨年度開催された創立65周年記念総会において決議頂いた趣旨に沿いまして、今回発行の「やまざと」から体裁を大幅に変更して会員の皆さまにお届けさせていただきます。

事務局の手作りであった労作の時代から長年にわたり数十ページの冊子形式でお届けし、会員の皆様から親しまれてきた会報「やまざと」ですが、会費収入の減少等今後の運営を考慮せざるを得なかった次第です。何卒、事情ご勘案のほどお願い申し上げます。

新年の能登半島地震では能登を中心に甚大な被害がおき、被災者となられた会員もおられました。義援金などの対応もさせて頂きましたが、秋の豪雨も重なって復興への道は険しく、皆様におかれては未だ不自由な生活を送っておられる多くの県民に思いを寄せてくださいますよう。

一方、新型コロナ安定化に伴い、自粛されていた各支部での活動も再開され、記事のように会員の皆様におかれてもそれぞれ活発に動いておられます。更なる活動を期待しています。

今年は昭和39年（1964年）に初代ベルクハイムが完成して60周年。小屋の創設及びこれまでの改修、維持に携わられました多くの皆様のご尽力に改めて感謝申し上げます。

現役の活動力も徐々に回復しており、かつてのような規模ではないとしても自分たちの力量を高めるべく懸命に努力しておりますので今後も変わらぬご支援よろしくお願い申し上げます。